

者ハ是ノ如ク由駿河沼に尻府中河迄ハ招列の
小もかく外西のりとの知らるる一程の事ハ都の
活きより上地衣の一一珍事申へ筆と貴に

何れ又古のうらいに之樂亭戯述

易ハ不謂天道ハ盈虧とのり一吊ふ友ふはるが府ハ初年
一り父母事一孝心保一才と信ハ業成起一子孫
と安一富一ひ一お始え小賢一ひ一秋のまに
幽居小才と世一月一射一詩と賦一雪の意小を
かとし一花一朝ハ一微笑拈華の道の觀一り

井華と扱一申ハ一極妙事小浪と福一香の煙り
に世の藝と挿ハ竹風ハ利名と清久志ハ折ハ市中に
出ハ遊戯のる小業と一是傳ハ利埃の幸にハ
才の真かと思ハ一源小一の志ヤハ借不貴ハ
け辭ハ功未名遂ハ身と世ハ君の人の
亦若幽亭小居ハ一志と一のい
一小心余小長ハ一庭の瓢ハ身と和ハ一白蓮
小心といハ一子孫ハ質素潔白と等ハの樂
又ハ朝ハ道ハ一夕ハ浮世小文ハ一
糸と考ハ一物禮と洗ハ一糸ハ一飽

喰い喰い小き女の著りとくく身小義筆をすしむ
即来と何うん——無欲活流の境小道達と何れも
か——ふらん早うおれも道のちやう年久——道にた
と知りの女を定本も何れもいふも前う心小義
く——けいこのおと主——と感心——中い
之茶のゆき糸——おれ探も人々前うけ之茶の油切と
傳く代いの守りとふ——とる——とく——とく
と——の神と天小に命——中をい——い——い
と父君の志と何うか——思ひつとる——

茶烟雲起竹籬中興響松風閑月隴事是一瓢之

樂主優遊方外太虛同

功と名と遂く——中身と志うか——身うにすし

道の達人

文化中の仲秋

布袋庵主人存

異國般紅漂着之事

異國般紅大敷、松岡往横江、同船是夜横江白き節、下惣
洞々、色豊帆柱、中、横帆板を本都合之、中、思下、
帆板中、段々、上下、行つと、有る、英帆、白く、英も、みの、本
中、空月、有る、板之、帆、綱、敷多、何れ、敷ふ、知、千、方、に、存